

平成 23 年度 高津高校 コア S S H 事業 日韓高校生交流事業 Summer Science Camp in Korea 2011

高津高等学校が中心となる S S H 事業に、本校課題研究選択生徒 1 名が参加、韓国的高校生との交流および現地での調査活動を行いました。

(1) 参加生徒（日本側）

事業の中心となる高津高校から 11 名、千里高校から 6 名参加
大阪教育大学付属平野高校より 2 名の他は、北野高校、豊中高校、園芸高校
大手前高校、四條畷高校、住吉高校、生野高校、三国丘高校、泉北高校、岸和田
高校より 1 名ずつ参加 合計 30 名

参加生徒（韓国側）

中央女子高校から 1 名、全州第一高校から 4 名、全州女子高校から 7 名
全北科学高校から 17 名参加 合計 29 名

(2) スタッフ（日本側）

団長（高津高校校長）1 名、事業主担教員 1 名、講師 3 名、引率教員 8 名
通訳 T A 1 名、T A 8 名 合計 22 名

スタッフ（韓国側）

講師 5 名、教員 1 名、通訳 T A 1 名、T A 8 名 合計 15 名

(3) 事前研修 平成 23 年 7 月 23 日(土)、7 月 24 日(日)

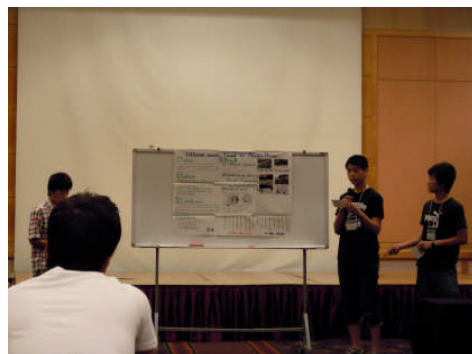
あくたがわ緑地資料館および高津高校において、交流および調査活動の準備を行いました。

(4) 海外研修 平成 23 年 8 月 11 日(木)～8 月 14 日(日)

- ①文化交流として、日本側から歌唱（韓国の歌 故郷の春）と折り紙を準備した。
また、互いに事前活動を発表した。
- ②お返しの文化交流として、韓国側から伝統家屋が保存されている韓屋村の班別案内。
- ③韓国側講師のキム・ジンテ氏の英語講演。
- ④河川の水量過多の理由で水質と魚類と陸生動物に絞っての合同調査。
- ⑤8 つの班（各班は日本生徒 3～4 人、と韓国生徒 3～4 人で構成）に分かれて英語に
韓国語の交じったポスター作成。
- ⑥多目的室の 4 つの壁面にポスターを掲示して発表と質疑応答。
- ⑦研修室で両国の生徒が混成した班ごとの出し物。



昆虫採集



事前の発表



魚類採集



ポスター発表

(5) 成果

この事業を通して、日韓の高校生同士の理解が深まるとともに、「河川の共同調査を通して、生態系の現状や環境の大切さを理解」「さまざまな交流を通じて相互の理解と友情の構築」「コミュニケーションの手段としての英語の運用能力を育成」という点において参加した生徒に大きな成果が得られました。